



## ◆弘前市で西北中南地域会を開催◆

3月6日(土)、弘前市土手町の「弘前まちなか情報センター」において、まろまろ談話会の「西北中南地域会」が開催されました。

この地域会は「遠方に住んでいるため、県立中央病院で開催される談話会にはなかなか行くことが出来ない」という会員の声にお応えして実験的に企画されたもので、当日は、あいにくの小雨にもかかわらず、弘前市や五所川原市などに在住の会員6名と地元のサポーター会員2名、そして青森地域から友情参加の6名を加え、計14名の方が参加しました。



お茶会では、いつもの「病氣自慢」?に始まり、互いにいろいろな情報交換や質問などをしながら、和気あいあいの時間を過ごすことができました。

ちなみに、午後2時半から始まった会も5時には終了したのですが、一部の参加者は場所を鍛冶町に移し、居酒屋、スナックとハシゴしながら情報交換を続けたそうです。

参加者からは「初めて話した方が自分と近い年齢だとわかって、今まであまり話さなかったようなこともたくさん話が出来て大変良かった」とか、「今度は青森の談話会にも参加してみたくなった」という声も聞かれました。

次は、ほかの地域に場を移して地域談話会を開催していきたいと考えています。そのときは、地域の方は是非ご参加ください。

## ● 異動のお知らせ

青森県立中央病院の人事異動があり、まろまろ会員の病院スタッフの方も異動されました。

### <転出>

— これからも、ご支援よろしくお願ひいたします。 —

血液内科外来 佐々木 美子 主幹看護師  
(あすなる医療療育センターへ)

### <退職>

— たいへんお世話になりました。 —

血液内科 小倉 和外 副部長  
(静岡がんセンターへ)  
4階西病棟 赤川 順子 主任看護師

### <採用>

お帰りなさい。  
またよろしくお願ひいたします。

血液内科 山口 公平 医師



## ● まろまろからのいろいろなお知らせ

### 「がんボード講演会」が開催されました

3月27日(土)青森市のラ・プラス青森において、県立中央病院の主催により「がんボード講演会」が開催されました。

講師に「がんの治療選択とセカンドオピニオン」というテーマで説明いただきました。内容は白血病と悪性リンパ腫についてのお話を中心に、新薬導入により治療成績が改善されてきていること、セカンドオピニオンは適切な情報を整理のうえ相談することなど、患者家族にもたいへん分かりやすい言葉でお話いただきました。

飛内部長は青森市のご出身で、青森高校、東北大学医学部をご卒業後、国立がんセンターでがん診療に携わり、国内における血液がん治療をリードしてこられた先生です。

講演終了後、先生を囲んでの懇談会がありましたが、県病事務局の御好意により、まろまろの会員も同席させていただき、中央におけるがん治療や患者家族会のことから、先生の青森時代のことなど、くつろいだ雰囲気の中、貴重なお話を伺うことができました。

### 今年も新年会を開催しました

1月30日(土)青森市内のホテルにおいて、40名余の方々の参加のもと、まろまろ新年会が盛大に行われました。

開会前の会場は、久しぶりに会った会員同士が、互いの姿を見つけては入院中の話題に花を咲かせる場面もあり、ちょっとした同窓会の雰囲気。

開会にあたり、まろまろ顧問の県立中央病院血液内科久保部長から、「元気な姿でみんながここに再会出来たことを喜びたい。また、本県の骨髄移植のドナー登録者数が関係者の様々な努力によって、全国最下位から現在30番台中位まで順位を上げたことは大いなる喜びであり、励みとなる。今後も一層頑張っていきたい。」との挨拶がありました。

また、乾杯のあと、赤木副部長より、ゲスト参加された臨床研修中の武田医師と鎌田医師の紹介があり、会場からは「是非、血液内科の医師になって欲しい」と、強く要望する声と拍手がわき上がりました。

宴会は、おきまりの「ほぼ記憶喪失者」が出現する盛況ぶりで、余興の「お名前ビンゴゲーム(※1)」も、当初、長い名前の方が不利かと思われましたが、終わってみれば、むしろ短い名前の方が大苦戦するという展開となり、会場は大きな笑いの渦に包まれました。

※1 カードに自分の名前を平仮名で記入し、司会者が読み上げた1文字があれば消していき、先に全部消すことができた者が勝ちというゲーム





**おめでとうございます**

**まろまろ会員奈良仁さん「津軽伝統工芸＋craft」コンテストで最優秀賞を受賞！**

青森県が開催した津軽の伝統工芸品の新商品デザインを募集するコンテストで、県内外から応募があった142点の中から奈良さんの作品がみごと最優秀賞を受賞しました。受賞したのは、ブナコ製オーディオコンポ「BUNACOMPO（ブナコンポ）」

ブナコはブナの木材を1mmの厚さにスライスしたリボン状のものを巻いて作る工芸品で、お盆や器などの商品がおなじみです。奈良さんの作品は、これをオーディオコンポに活用するもので、コンポを胴体やスピーカー部分などのパーツに分離して自由に組み替えられるようになっています。

県では、この最優秀作品の試作品を作製し、商品化を検討することとしているそうです。

奈良さんは骨髄異形成症候群で骨髄移植を受け、現在治療を継続中のまろまろ会員です。本業はウェブデザイナーで、その技術には定評があります。闘病中の様子や想いをブログでも発信していますので、是非ご覧ください。

ブログ <http://narajin.net/>



**◆青森県骨髄バンク登録協力会からのお知らせ ～あなたも説明員になりませんか～**

(財)骨髄バンクのボランティア説明員で結成する協力会では、日赤の献血車に同行し、ドナー登録者の募集を行っています。平成21年度は説明会を18回開催し、計182名の方に登録いただきました。協力会では6月に説明員養成研修会を開催する予定です。ご応募お待ちしております。お問い合わせは、まろまろ会員の佐藤さんまで（電話）090-5832-3531

**◆(財)骨髄バンク地区普及広報委員の柴谷さんからの情報です**

**(その1) 全国骨髄バンク推進連絡協議会の全国大会**

今年是全国協議会が設立されて20年を迎えます。これを記念して、9月11日と12日の2日間にわたり「骨髄バンク20年目の同窓会」と題して患者とドナー1000人の集いが開催されるそうです。

会場は、福島県裏磐梯(北塩原村)

詳しい情報が入りましたら、またお知らせいたします。

**(その2) 骨髄バンク講話**

息子さんを白血病で亡くされた「いのちのあさがお」の著者丹後まみこさんによる講演があります。

日時: 7月15日(木)午後1時半～

場所: 浅虫中学校

一般の方の参加も歓迎だそうです。

詳しくは、柴谷さんまで

(電話) 090-5188-1543

会報11号「図書の貸し出しをします」でお知らせした柴谷さんの電話番号に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

# ● まろまるミニミニ学習会のお知らせ

入院が長期になりそう・・・

入院費がどのくらいかかるかわからない・・・

医療費の支払いが心配になることがあります。

今回は、知っておきたい医療保険制度についてと、障害年金制度の入門編についてのお話です。

テーマ 知っておきたい医療保険制度と障害年金入門

日時 5月23日(日)午後2時から

場所 青森県立中央病院 3階大会議室



会員でない方も参加大歓迎です。入院中の方、外来治療中の方、そして御家族の方、遠慮なくおいでください。お待ちしております。

## 第8回市民公開講座『骨髄移植を知ろう』が開催されます。

日時：平成22年7月3日(土)午後1時～4時

会場：アピオあおもり

青森市中央3-17-1 電話017-732-1010

講演：愛知県がんセンター名誉総長 大野竜三 先生

そのほか ドナー体験者、骨髄移植体験者のお話など

※ 県病から青森駅経由の送迎バスを予定しています。

また、公開講座修了後、同会場で「まろまる平成22年度総会」を開催します。くわしくは追ってご連絡します。

### ◇メーリングリスト

まろまる会員のメーリングリストに登録しましょう。会からのお知らせや会員同士の情報交換にご利用いただいています。

未登録の方は、登録先のアドレスをお知らせしますので、下記までメールをください。

[fwhy2780@nifty.com](mailto:fwhy2780@nifty.com)

### 骨髄バンク情報 (H22年3月末現在)

	全国	青森県
患者登録者数	1,365人	10人
ドナー登録者数	357,378人	2,909人
対象人口千人あたり	5.95人	4.55人(36位)

—資料：(財)骨髄移植推進財団—

血液疾患と歩む患者・家族の会 まろまる  
<事務局連絡先> 青森県立中央病院 血液内科 外来  
TEL 017-726-8141 FAX 017-726-8083  
〒030-8553 青森県青森市東造道2-1-1



県病HP <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/hospital/kenbyo/ketsueki.html>  
ブログ <http://maromaroaomori.cocolog-nifty.com>

